

2024年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2024年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本史 専攻分野)

左の問1～問4のうちから1問を選択して解答せよ。

問1 自らの研究成果を踏まえ、博士論文の構想を具体的に示せ。それらが、日本古代史研究にとってどのような意義を持つと考えるのか、論述せよ。

問2 鎌倉時代後期の幕府の性格について論ぜよ。その際、修士論文の成果を踏まえつつも、今後どのように研究を進めていくかに重点を置いて述べること。

問3 修士論文の研究成果を踏まえて博士論文の構想を示し、さらにそれが日本近世史研究のいかなる課題に対して積極的意義を持つと考えるのか、具体的に論述せよ。

問4 自身のこれまでの研究成果を説明し、博士論文で解明しようとしている内容にどのように発展させるのか、これまでの研究成果と博士論文の内容は、これからの日本近現代史研究に対して、いかなる意義をもたらす、どのような新しい歴史像を提示できると考えているのか、論述せよ。

盟 ()

* () に番号を記入するに

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

受験記号番号

$$4 \quad / \quad 4$$
This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.